

漫録

加古川橋竣工式に参列して



込まれた、更に山脇兵庫縣會議長等を加へて列車の中は一しきり賑ふ、車中より改築中にある神明國道の所謂「鐵道と軌

八月十一日二號國道兵庫縣加古郡加古川町、印南郡米田村立會加古川に架換せられた加古川橋の竣工式が舉行せられた。内務省の丹羽道路課長は内務大臣代理として此式典に列し田中土木事務官は道路改良會長代理として水道調査を練合せて行を共にすることとなつた、時間勘定を嚴命されたとい

ふ平塚兵庫縣知事は僅か、しかし重大な意味を持つ一分の差

で神戸驛で列車に乗り遅れ縣廳の方々をはらくさせられたが自動車を飛ばして列車を追ひかけ兵庫驛で無事列車に乗り

道とで狭撃せられ、頻繁なる交通の重荷に堪えず沙塵蒙々たる道路と、舞子濱の灰白色に變じてゐる青松」てふ現状を見たり、又此地方の發展の著しいことなどの吹聴を聞いたりしてゐる内に列車は加古川驛に着く。

○

軒毎に飾つた國旗や紅提燈、ボンくと打揚げる花火、暑さを物ともせぬ多い人出、早や町一杯に竣工式氣分は漂ふ

る、新装をこらした新橋の袂に設けられた式場に到着して小憩してゐると午前十一時流石に正確に泊神社々掌森本氏齋主となつて式は開始せられた、官民の参列者約五百名、白衣の神官が真榦で人々の頭の上を拂ふて修祓の儀を行ふと何となく俗塵や罪惡は拂ひ去られて心の中が清々しくなり此庭に神を迎へて新橋の竣工を喜び其永久の幸を祈るに充分なようない氣がする。降神の儀以下式は型の如く進んで齋主の祝詞、村山土木課長の工事報告、知事式辭、内務大臣祝辭（丹羽道路課長代讀）、道路改良會長祝辭（田中事務官代讀）山脇縣會議長其他多數の祝辭等凡て滞なく終つた、猛暑の折柄にも拘らず誠に神々しいものであつた。

○

それから直ちに渡初め式に移り神主隊の先導で三夫婦、知事以下が之に續く、吉例の三夫婦は兩岸町村の中から最も高齢な夫婦を選抜したとのことであるが、翁は羽織袴、媼は白襟紋付といふいでたち、流石は長命をする人達だけに何れもホントに善男善女の風貌で見るからに懐しい、又晴々しい場所に引き出されて時々何となく物なれぬ様子のあらはれるのも却つて素朴でうれしい、兩岸には見物の人山が扇子やハ

ンカチをハタ／＼と動かしてゐる、長い竿で花火から落ちて来る作り物を奪ひ合ふ子供の群も見える、清めの砂が敷かれある長い新橋の上を行は静かに練つて行くのである。本橋の構造は紹介欄にある如く誠に頑丈なしかも氣の利いた美しい橋である、加古川町の町長様が關西第一だと御自慢めされるのも御無理ではあるまい、殊に舊橋が未だその儘に並んで存してゐるので眼前に新舊二橋を比較することが出来、恰も浮世の苦しみに疲れ果てて僅かに餘命をつないのである老人と希望に輝く凜々しい強健な青年とを並べたような氣がある、力強くも河底深く足を踏みしめた此頼もしい新橋は加古川の水が如何に漲り狂はふとも恐らくは微動だもしないであらう、そして永久に日に／＼増加し行く交通の重荷を何の苦もなくほゝ笑みながら支へつくして産業上軍事上其他に數知れぬ利便を與へてくれるであらう、橋より久へにまさきくあれ、神より久へに此橋を護れかし。

○

渡初め式の後加古川町公會堂で盛大な祝賀の宴が開かれた、場内は萬國旗を以て飾り數十個の氷柱を配置し大舞臺をも設け餘興の手踊り舞等を見せ、場外は數十名の消防夫がガ

ソリン岬簡で夕立を降らして暑氣を凌がす等誠意のこもつた歓待に努められた、加古川町は近時著しい發展を示し、あるが更に近き將來に於て市制を施行せんとする希望を抱いてゐる、所謂一の青年都市であるので町長始め有志者の元氣は實に素晴らしいものである、吾等は深くその歓待を謝し同町の發展を祈り、午後三時此町を辭し去つた。(省吾記)

内務大臣の祝辭左の如し

加古川橋架換工事其工ヲ竣へ本日茲ニ竣工ノ式典ヲ舉クル

ニ至レルハ邦家ノ爲洵ニ欣幸トスル所ナリ

抑本橋ハ帝國ノ交通幹線ニ屬スル二號國道ニ架設セラル

大正十三年八月十一日

内務大臣 若槻禮次郎

モ其創設古ク構造亦現時ノ交通情勢ニ伴ハス遺憾尠カラサリシカ會々加古川改修工事施行セラレ爲ニ橋梁扛上ノ必要ニ迫リタルヲ機トシ毫カ架換ヲ計畫シ精巧ナル技術ト多額ノ費用トテ以テ銳意工事ノ進捗ヲ圖リ今ヤ全ク其功ヲ告クルニ至レリ惟フニ其堅牢ナル構造ハ輓近發達セル交通ノ要求ニ適應シ産業ノ振興ニ資益スル所更ニ大ナルモノアラム冀クハ其維持管理ニカメ以テ長ニ其ノ利用ヲ完フセラレムコトヲ一言所懐ヲ述ヘテ祝辭トス

富士川橋竣工式

富士川橋竣工式の舉行せられる前日十六日に興津に來着し
てゐられた内務省側の大臣代理鈴木參與官、松木港灣課長、
牧内務省土木試驗所長、中川東京土木出張所長、安藝横濱土

木出張所長、岩澤技師の多數に、更に道路改良會からは水野
八時半自動車を列ねて興津を出發東海道を東に式場に向ふ。

富士川橋竣工式の舉行せられる前日十六日に興津に來着し
てゐられた内務省側の大臣代理鈴木參與官、松木港灣課長、
牧内務省土木試驗所長、中川東京土木出張所長、安藝横濱土
木出張所長、岩澤技師の多數に、更に道路改良會からは水野
八時半自動車を列ねて興津を出發東海道を東に式場に向ふ。